



JSQC ニュース

No.246

発行 社団法人 日本品質管理学会

東京都杉並区高円寺南1-2-1 日本科学技術連盟東高円寺ビル内

電話:03(5378)1506 FAX:03(5378)1507

ホームページ:www.jsqc.org/

CONTENTS

- 1-トピックス 品質管理相談室開設のご案内
- 2-私の提言「コストパフォーマンス抜群！学会行事」
- 2-ルポルタージュ 第289回事業所見学会ルポ
- 3-ルポルタージュ 第290回事業所見学会ルポ / 7月入会者紹介 / お詫びとご連絡
- 4-行事案内 / 教官募集

品質管理相談室開設のご案内

品質管理相談室特別委員会 委員長 猪原 正守 (JSQC理事)

品質管理が、日本の企業発展に大きく貢献してきたことは改めて申し上げるまでもないことと思います。しかし、昨今の品質にまつわる諸問題を考えるとき、強かったはずの日本における品質管理が迷走しているのではないか、その結果として品質保証力が弱体化しているのではないかと疑われることもあります。

このような状況を考える中、日本品質管理学会では、会員の皆様へのサービス活動の一環として、狩野紀昭前会長のご発意で、品質管理に関する会員相互の疑問などに関する相談室開設を準備して参りましたが、このたび学会ホームページに品質管理相談室を開設することとなりました。URL://www.jsqc.org/ トップページからご利用ください。

なお、以下に、本相談室の目的、運営方法、約束ごとについて説明いたします。

1. 目的

品質管理に関する会員の皆様の疑問や悩みをホームページ上の相談室欄にご投函いただき、会員の皆様からのご回答、ご意見によって相互に疑問や悩みごとを解決していくことを第一の目的としています。また、学会として、寄せられた相談内容を特別委員会レベルで集約し、研究発

表会等適当な機会に公開することで、学会としての発展に寄与することも目的としています。したがって、投函いただくことは、品質管理に関連する内容であれば、その範囲を特定することはありません。

2. 運営方法

本相談室は、会員の皆様の自主的な参画による運営を基本としています。したがって、投函された質問のすべてに回答が寄せられることをお約束するものではありません。また、回答は、会員相互のある意味で自由な考えで十分であり、学会レベルで整理されたものである必要もありません。しかし、会員相互の「質問投函 回答投函 質問投函 回答投函・・・」の連鎖によって、最終的には、理論面からも実践面からもすぐれた内容となることを期待いたしております。なお、特別委員会には、学会理事をはじめとする多数の委員にご協力いただいております。

3. 約束ごと

本相談室は、会員各位のご協力によって成立するものであることから、参画いただく方々の誠意ある態度がなければ運営ができません。

また、会員各位の自由な討論の場としての運営が基本であるため、各位か

らの積極的なご回答をお願いします。

4. 日本品質管理学会への反映

本相談窓口寄せられた内容から、日本品質管理学会として緊急に取り上げるべきもの、中長期的な視点から検討することが望ましいものなどを、品質管理相談室特別委員会が整理した上で、本学会の主催する研究会および総会において、報告する予定です。

5. 将来計画

品質管理相談室は将来構想として、個別の相談内容に対して専門委員を配したコンサルタント形式の相談室も企画しております。しかし、その実施には、この公開討論の実績が重要であり、その意味でも、会員各位のご協力をお願いする次第です。

6. 最後に

品質管理相談室の開設に際しては、JSQCの第31年度、32年度理事の方々をはじめ、Web特別委員会委員長・兼子理事にお世話になりました。この場をかりて、感謝申し上げますとともに、関係各位にはさらなるご協力をお願い申し上げます。

最後に、本相談室の主人公は会員各位です。皆様の品質管理相談室への積極的なご参画をお待ちいたしております。

私の提言

「コストパフォーマンス抜群！ 学会行事」

成城大学 教授 神田 範明



事業委員長の神田です。商品企画が私の専門ですが、行事の企画はなかなか難しく、役員・委員の皆様

に助けられながら立案を行っています。立場上、本部行事には多数参加します（当然ですが）。つくづく感じるのは、学会行事は「高価値低価格」=「コストパフォーマンス抜群」ということです。自分で企画しておいて手前味噌なのは申し訳ないことですが、シンポジウムでは各界の著名な発表者を招請しています。研究発表会では役に立つ最新の研究成果が目白押しです。

見学会では心底感動するような事業所に見学に行っています。どのイベントも規定の4~5倍の参加費でも当然と思うような内容なのです。勿論、中部、関西も同様です。

私が数年前に創設した学会らしからぬ行事に「クオリティ・パブ」があります。堅いイメージの学会としては随分大胆な名前の楽しい催しです。何しろ、その名の通り、オープンと共に酒を飲んでしまうのですから（！）。講演者も参加者もくつろいだ雰囲気の中、本音で話をしようや、という粋な試みです。隔月開店というノンビリした営業の割には結構常連客（？）がおられます。まだお越しでない皆様はどうぞ一度お試し下さい。JSQCの新たな一面を

見していただけるものと思います。

このような学会行事ですが、時折、参加者がさほどおられなくて「もったいないなあ！」と思うことがあります。私達の事前検討が不十分であったり、開催時期や場所が必ずしも最良を選べないことが一因ですが、それでもなお、是非とも「万障を繰り合わせて」お出かけ下さい。皆さんの仕事の悩みを一扫するような、あるいはひょっとしたら人生観を変えてしまうような素晴らしい瞬間に出会えることを保証します。年会費ぐらいはわずか1~2回の行事参加で帳消しになってしまうはずですよ。

年度内の本部行事は9月5日 ISO 第三者審査ガイドライン説明会、9月26日 クオリティ・パブ（生産財メーカーの商品企画）、10月2日 シンポジウム（新たな品質保証体制の再構築）、11月8日 年次大会（名古屋）と魅力たっぷりです。是非とも奮ってご参加下さい。

第289回 事業所見学会 ルポ

サンデン株式会社 赤城事業所

4月18日、好天に恵まれた中、第289回事業所見学会がサンデン株式会社・赤城事業所（サンデンフォレスト）で行われた。同社は自動車空調機器、自動販売機、ショーケース、冷暖房機器等、冷熱関連で高いシェアを有しており、98年にデミング賞、昨年には日本品質管理賞を受賞し、積極的な商品開発と品質管理活動で著名な企業である。赤城事業所は昨年8月に稼働し始めたばかりであるが、日本経済新聞社・優秀先端事業所表彰を受け、同社がサンデンフォレストと命名したことからもうかがえるように、先端的思想に包まれた21世紀型の「夢工場」である。

サンデンフォレストは群馬県の赤城山のふもとに64万m²もの広大な敷地を構え、工場用地は22万m²、残り約3分の2は森、川、遊歩道、草原などであり、自然との共生を目指した数々の配慮が為されている。例えば、ゼロエミッション（再資源化率ほぼ100%）

完全無排水でエネルギー半減の塗装システム、近自然工法・ビオトープ（野生生物生息可能な生態系）化による生態系保存の環境整備。勿論ISO14001も取得している。6kmに及ぶ散歩道、バーベキュー広場、渡り鳥の来る沼、ほたるの里等々、とにかく「巨大な自然公園の一角に工場もある」というのが率直な印象。これほど豊かな自然と共に生産活動をしている事業所は他に存在しないであろう。社員ものびのびとしているように感ずる。

工場内部も最新の高效率ラインが稼働している（環境に配慮しているのは勿論のこと）。自販機、ショーケース、住環境機器等を製造しているが、内部に部品工場や物流センターを配し、部品加工から組立・物流まで一貫した生産ライン（しかも高度なIT化！）でリードタイムを何と従来の4分の1に短縮した。開発部門も有し、大部屋方式でナレッジを共有しながら顧客指向の新商品開発に取り組んでいる。

このようにサンデンフォレストは、およそあらゆる意味で先進的な事業所である。参加者の全員が同社の理念の高さ、挑戦的な姿勢にいたく感動し、また圧倒された見学会であった。

神田範明（成城大学）

第290回
事業所見学会
ルポ

株式会社
デンソー技研センター

6月3日、第290回（中部支部第69回）事業所見学会が愛知県安城市にあるデンソー技研センターにて開催されました。テーマは『明日のモノづくりをリードする人づくり - 理論と実践を身につける実学一体による人材育成 - 』。募集から数日で定員に達し関心の高さが窺われました。デンソー技研センターでは1954年に技能養成講座をスタートさせて以来、6000名もの卒業生を輩出し『世界一製品づくり』を目指すデンソーの人づくりに貢献し続けてきていることが、生駒社長様より紹介されました。

その教育の基本方針は次の3つであり、
 学科教育：技術・技能の裏付けとなる知識・理論の修得
 実技教育：豊富な教材で実践的な技術・技能を修得
 心身教育：人間性・社会性の醸成と国際感覚の涵養
 これらを実践することにより、時代・環境の変化に柔軟に対応できる技術・技能者を育ててこられました。

教育施設の見学では、実技教育のための充実された教

育環境、ミクロンオーダーの加工精度を必要とする教育課題および体系化された豊富な研修コースを見学することができました。生徒さんたちの『こんにちは』という元気な挨拶、海外からの研修生を含む多くの若い人達が真剣なまなざしで実学一体を学んでいる姿に強く感銘を受けました。

技能開発課程では技能五輪世界一を目指した高度な教育が実施されていました。1971年に初めて国内大会で金メダルを獲得。1977年には国際大会で金メダルを獲得。その歴史を築き上げてきた技能五輪メダリスト達の写真がずらりと並んでいました。その先輩達の目の前に、今年の国際大会での優勝を目標に黙々と練習をしている選手達がありました。その姿にデンソーの中で脈々と受け継がれているモノづくりの心と技のDNAのようなものを強く感じました。

後日の新聞記事にて、技能五輪国際大会で大変優秀な成績をおさめられたことを知り改めて、お祝いを申し上げます『おめでとうございました』。今回の見学会にご尽力くださった関係者の皆様には厚く御礼を申し上げます。

山内得次（豊田紡織）

2003年7月の
入会者紹介

2003年7月16日の理事会において、下記の通り正会員19名、準会員25名の入会が承認されました。

（正会員19名） 大野 正直（日本ガイシ） 竹内 寛（防衛庁） 山田 尚久（日本テレコム） 野口 隆（三洋電機） 伊藤 裕司（花王） 鬼塚 光政（桃山学院大学） 小此木 孝弘（ドコモエンジニアリング） 神尾 守忠（神尾QMSコンサルタント事務所）

茂木 敏之（サンデン） 鈴木 寛（日野自動車） 古谷 健夫（トヨタ自動車） 中津川 英則（テクノ経営総合研究所） 中原 吉人（京セラコミュニケーションシステム） 九里 徳泰（中央大学研究開発機構） 山縣 振武（日立製作所） 古山 仁則（富士電機） 嶋 義幸（松下電器産業） 配島 陽一（日本電気システム建設） Armand G Gutierrez（PEMEX）

（準会員25名） 東 秀樹・石島 聡子・太田 剛・関井 俊行・伊藤 雅敏・坂部 中（武蔵工業大学） 矢鉦

亮一（電気通信大学） 橋本 泰広・小布施 仁士・小田 誠・末竹 厚・野川 幸毅・岩下 志保・岩田 瑞希・松葉 裕佑・柳町 高正・梶塚 圭太・相澤 尚伸・迫田 芳隆（東京理科大学） Zahid Bin Ismail・稲葉 怜人（明治大学） 李 前喜（東京情報大学） 小宮山 慎一・清水 康平・渡辺 潤一（早稲田大学）

正会員：3212名
 準会員：124名
 賛助会員：191社217口
 公共会員：22口

役員・代議員選挙投票用紙 所属誤記のお詫びとご連絡

役員・代議員選挙実施にあたり、投票用紙をお送りいたしておりますが、昨年選挙において選任されました役員・代議員の所属等の変更が反映されていないことによる誤記が見つかりました。ここに深くお詫び申し上げます。訂正させていただきます。

今後は、前年度に選任済みの方々につきましても、投票用紙に記載前にご本人にご確認いただくことにいたします。

選挙管理委員会

理事（敬称略）

仁科 健 名古屋工業大学 助教授 生産システム工学科
 名古屋工業大学 教授 おもひ領域 生産システム工学教育類

代議員

小原 次夫 電気通信高度化協会 企画部 部長
 東日本電信電話 研究開発センタ 担当課長

金子 龍三 日本電気テレコムシステム 取締役技術管理本部長

上月 宏司	日本電気通信システム 執行役員 コマツスタッフアンドプレーン 特別顧問 コマツゼネラルサービス 国際規格本部 顧問
新藤 久和	山梨大学 教授 工学部コンピュータ・メディア工学科 山梨大学 教授 大学院医学工学総合研究部
竹内 英司	アイシン精機 TQM・PM推進室 副室長 アイシン辰栄 TQM・ISO推進室 室長 参与
田辺 貞雄	キヤノン 品質本部 品質企画センター 副所長 キヤノン 品質本部 品質技術開発センター 所長
西 康晴	エス・キュー・シー 電気通信大学 講師 電気通信学部
堀内 純孝	日立製作所 ソフトウェア事業部 囃託 クオリティ 品質保証センター センター長
雪本 直樹	NTTデータ通信 NTTデータ 以上

行事案内

特別企画(本部)

テーマ: ISO9001:2000に基づく第三者審査のためのガイドライン説明会

日時: 2003年9月5日 9:30~17:15

会場: 早稲田大学理工学部57号館201号室

プログラム:

オリエンテーション

第1章 審査方法の基本に関する指針

館山 保彦氏(日本科学技術連盟)

第2章 プロセスに着目した審査技術に関する指針

福丸 典芳氏(福丸マネジメントテクノ)

第3章 品質マネジメントシステムの有効性評価に関する指針

平林 良人氏(テクノファ)

第4章 審査チームに求められる専門知識に関する指針

寺部 哲央氏(日本適合性認定協会)

第5章 審査員個人に要求される品質管理の知識に関する指針

中條 武志氏(中央大学)

第6章 審査員の力量・適正評価とその活用に関する指針

古山 富也氏(日本規格協会)

定員: 200名(会員優先)

参加費: 会員5,000円(締切後5,500円)

準会員2,500円

非会員7,000円(締切後7,500円)

学生一般3,500円

申込方法: ホームページから申し込みできます。

<http://www.jsqc.org/ja/oshirase/gyouji.html#030718-1>

申込締切: 2003年8月29日

CPD実績証明についてはホームページ(行事案内)をご覧ください。

第284回事業所見学会(関西)

テーマ: 医薬品の安全性試験の品質保証

見学先: 千寿製薬(株)コーベクリエティブセンター

日時: 2003年9月10日 13:30~17:00

定員: 30名

参加費: 会員2,500円 準会員1,500円

非会員3,500円 学生一般2,000円

申込方法: 会員種類・氏名・勤務先・連絡先住所・TEL・FAXをご記入の上、関西支部事務局宛にE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

なお、同業他社の方はご遠慮ください。

第73回研究発表会(関西)

日時: 2003年9月16日 13:00~17:00

会場: 中央電気倶楽部

定員: 70名

参加費: 会員3,000円 準会員2,000円

非会員4,000円 学生一般2,000円

申込方法: 会員種類・氏名・勤務先・連絡先住所・TEL・FAXをご記入の上、関西支部事務局宛にE-mailまたはFAXにてお申し込みください。

第37回クオリティパブ(本部)

テーマ: これぞ生産財メーカーの新商品企画! - ニーズ対応型からウォンツ提案型への進化 -

日時: 2003年9月26日 18:00~20:00

会場: 日本科学技術連盟

東高円寺ビル5階ラウンジ

参加費: 会員3,000円 非会員4,000円

準会員・学生一般2,000円

(含軽食・当日払い)

詳細: ホームページをご覧ください。

申込方法: 本部事務局宛E-mailまたはFAXにてお申し込みください。

定員: 30名

第94回シンポジウム(本部)

テーマ: 顧客価値保証へのアプローチ

- 日本の品質保証体制の再構築 -

日時: 2003年10月2日 9:30~17:00

会場: 日本科学技術連盟

東高円寺ビル地下1階講堂

プログラム:

基調講演:

品質保証活動へ期待するもの

高橋 朗氏(デンソー会長・日本品質管理学会会長)

「品質保証活動の実態と今後」アンケート分析結果

事例発表1(自動車):

トヨタの品質保証活動(仮題)

事例発表2(家電):

松下電器の品質保証活動(依頼中)

事例発表3(生活用品):

花王の企業を強化する経営革新活動

定員: 150名

参加費: 会員5,000円(締切後5,500円)

準会員2,500円

非会員7,000円(締切後7,500円)

学生一般3,500円

申込方法: ホームページから申し込みできます。

<http://www.jsqc.org/ja/oshirase/gyouji.html>

申込締切: 2003年9月25日

第33回年次大会・名古屋工業大学(名古屋)

日時: 2003年11月7日 8日

7日

13:45~17:00 事業所見学会

(A) 榊デンソー

(B) 豊田工機株

17:45~19:45 懇親会

会場: デンソー社員クラブ

8日 通常総会/講演会/研究発表会

9:30~10:30 通常総会

10:30~10:55 各賞授与式

11:00~11:45 新会長講演 飯塚悦功氏(東京大学教授)

12:45~17:30 研究発表会

参加費:

見学会(7日)

会員2,500円 非会員3,500円

準会員1,500円 学生一般2,000円

懇親会(7日)

会員・非会員4,000円 学生2,000円

講演会/研究発表会(8日)

会員5,000円 非会員7,000円

準会員2,500円 学生一般3,500円

申込方法: ホームページから申し込みできます。

<http://www.jsqc.org/ja/oshirase/gyouji.html>

申込締切: 2003年10月27日

行事申込先

本部: 166-0003 杉並区東高円寺南1-2-1

日本科学技術連盟東高円寺ビル内

日本品質管理学会

TEL 03-5378-1506

FAX 03-5378-1507

E-mail: apply@jsqc.org

中部支部: 460-0008 名古屋市中区栄2-6-1

白川ビル別館

日本規格協会 名古屋支部内

日本品質管理学会 中部支部

TEL 052-221-8318

FAX 052-203-4806

E-mail: nagoya51@jsa.or.jp

関西支部: 530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-25

日本科学技術連盟 大阪事務所内

日本品質管理学会 関西支部

TEL 06-6341-4627

FAX 06-6341-4615

E-mail: kansai@jsqc.org

教官募集

山梨大学大学院医学工学総合研究部
持続社会形成専攻の教官募集のお知らせ

職種: 医学工学総合研究部 助手

募集人数: 1名

着任時期: 2004年4月1日またはそれ以前

専門分野: オペレーションズ・リサーチ、経営工学、応用統計学

応募資格/提出書類:

大学院博士課程修了または同等の能力を有すること

着任時に年齢30歳未満であることが望ましい

博士の学位を取得済または取得見込みであること

他ホームページをご参照ください。

<http://www.jsqc.org/ja/oshirase/jimukyokukara.html#030722-1>

担当科目: プログラム言語、応用統計学などの演習科目

選考方法: 書類審査により数名を選抜後、面接

連絡先: 山梨大学大学院 医学工学総合研究部 教育部持続社会形成専攻

主任教授 北村 真一

<http://www.js.yamanashi.ac.jp/>

e-mail: skita@js.yamanashi.ac.jp

応募締切: 2003年10月31日 (必着)